

2	<h2 style="margin: 0;">古代国家の歩みと東アジア世界</h2>	年 組 番	( ) 思考・判断・表現 /2 問
		名前	( ) 技能 /3 問
			( ) 知識・理解 /3 問

**1 次の問いに答えなさい。**

問 (1) 右の史料は聖徳太子が定めた十七条の憲法の一部です。これを制定した理由を、15字以内で説明しなさい。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。  
 二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり。  
 三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

問 (2) 聖徳太子の死後、政治の実権を握っていた蘇我蝦夷・入鹿を、中大兄皇子・中臣鎌足らが倒して始めた、新しい政治のしくみをつくらうとする改革を何といいますか。

問 (3) (2)の改革では、それまで豪族がそれぞれ支配していた土地や人々を、国家が直接支配する方針が示されました。これを何といいますか。

問 (4) 7世紀の半ばの東アジアのようすについて、次の文中の( a )～( c )にあてはまる語句を下からそれぞれ選びなさい。

朝鮮半島では、三国がたがいに勢力を争っていたが、( a )が唐と結び( b )をほろぼし、やがて( c )も滅ぼされた。( b )と関係の深かった日本は、( b )を助けるため朝鮮半島に大軍を送ったが、唐と( a )の連合軍に敗れた。

[ 百濟 新羅 隋 高句麗 ]

**1**

(1)					
(2)					
(3)					
(4)	a				
	b				
	c				

**2 次の年表を見て、問いに答えなさい。**

(1) 年表中の下線部 a～c のうち、次の①～③のことがらに関連するものをそれぞれ1つずつ選び、記号を書きなさい。

年代	できごと
701	a <u>大宝律令</u> を制定
710	都を移す
743	b <u>墾田永年私財法</u> を制定
784	都を移す
794	都を移す
894	c <u>遣唐使</u> を停止
1016	藤原道長が摂政となる

問 ① 有力な貴族や寺社は、農民などを使って開墾し、荘園を増やしていった。

問 ② 日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が生まれた。

問 ③ 戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に口分田があたえられ、口分田の面積に応じて租を負担した。

問 (2) 年表が示している時代には、次のア～エの4か所に都が置かれていました。都が置かれた順に記号を書きなさい。

ア 平安京    イ 平城京    ウ 藤原京    エ 長岡京

**2**

(1)	①	
	②	
	③	
(2)	→      →      →	